

長井市館町南地区ハザードマップ (別紙-1)表

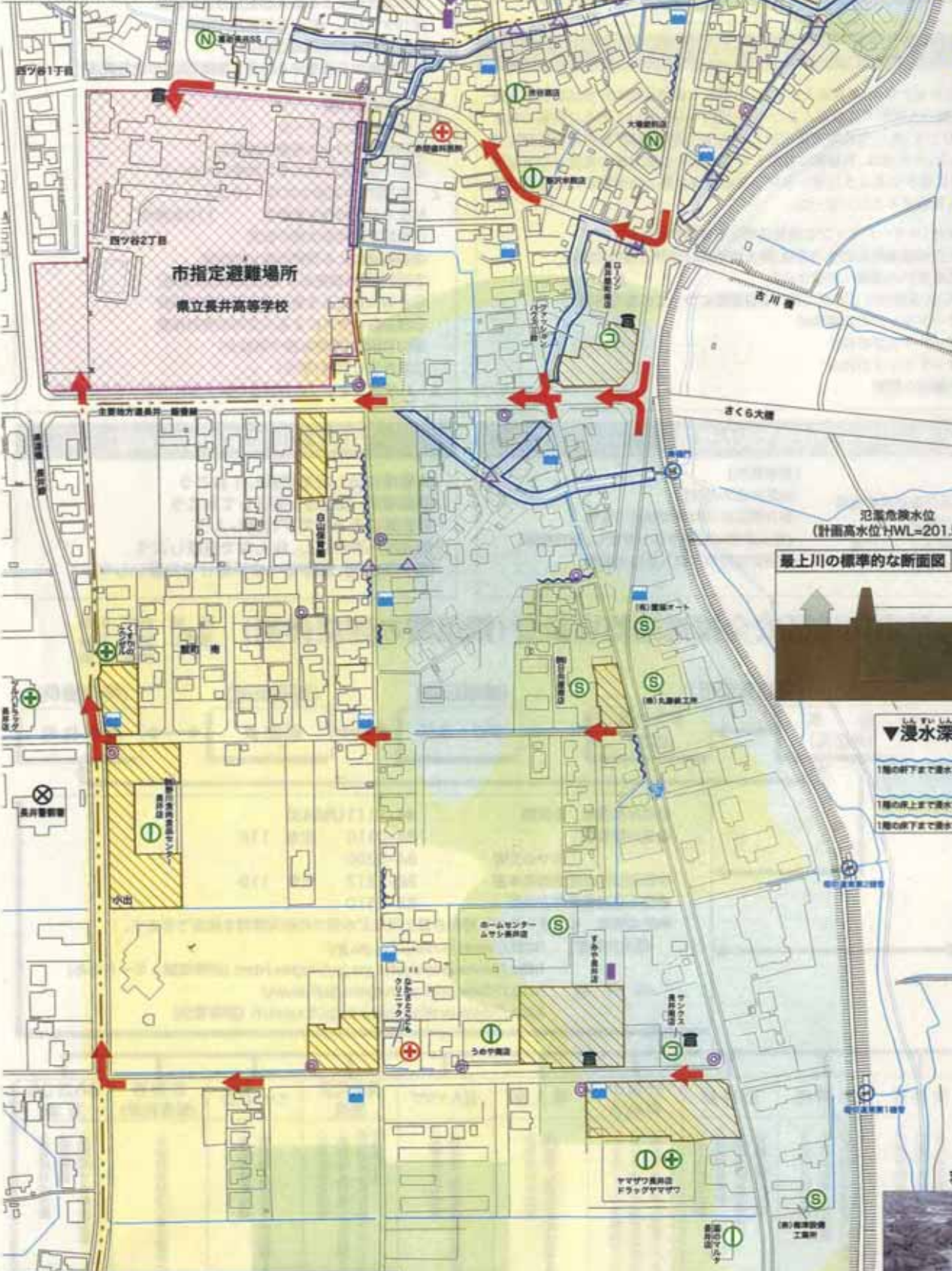
わが家の避難ルートを作ろう!!

家から避難所までの一番安全な避難ルートも地図に書き込もう。

- ◆自分の家に目印を付ける。
- ◆避難所を確認する。
- ◆避難ルートの選び方
 - ガードレールや信号・看板などのある道路は夜避難する場合目印になります。
 - ×ふたの無い側溝や水路の近くは避ける。
 - ×土砂崩れがおきそうな「がけ」がある道路は避ける。

凡例

- 1. 避難場所**
 - 市指定避難場所
 - 一時避難できる場所(地震時)
- 2. 避難路**
 - 水害時避難ルート
- 3. 危険箇所**
 - 樋門、橋脚
 - 内外溝のおそれのある小汚し水路
 - ブロック壁・石垣等
- 4. 消火用水**
 - 消火栓
 - 防火水櫃
 - ポンプ庫
 - 消火用川止め
- 5. 防災活動に役立つ施設**
 - 公衆電話
 - 医師
 - 医薬品
 - 食料・飲料を調達できる事業所
 - コンビニ
 - 防災資機材等を調達できる事業所
 - 燃料を調達できる事業所
 - 浸水想定看板
 - 地区境界

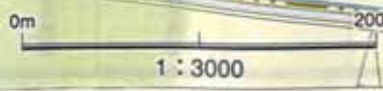


氾濫危険水位
(計画高水位HWL=201.512)



(昭和42年8月撮影)

II 緊急の際の連絡先 II		
館町南地区長	氏名	TEL
長井市役所	市民課	84-2111(内543)
長井警察署		84-0110 緊急=110
長井警察署	やめ交番	84-3200
西置賜行政組合消防本部		88-1212 緊急=119
国土交通省長井出張所		88-2310



長井市館町南地区の特徴等

館町南地区は、長井市の中心街(中央地区)の南に位置する住宅街である。地区の人口は、約1,100名(約360世帯)で、市内では3番目の人口を有する地区であり、面積は、約0.46 km²である。地区の特徴としては、地区の東側には最上川が流れ、その最上川の堤防には小河川等の排水門や取水門が、地区内には6箇所あり「水」が豊富であることから、最上川による洪水や小河川等による内水氾濫の危険性がある。また、地区内に国道や県道などの幹線道路が縦横にあることから交通量が多く、特に最近では、その交通の利便性から大型店舗やアパート等の進出が目覚ましい地区である。

ハザードマップ作成の経緯

平成19年8月29日で、羽越水害から40年を迎えます。この羽越水害では館町南地区は大きな被害を受けました。この災害で受けた教訓を忘れることなく、次世代へ伝えていくと共に災害に対する備えをしておく必要があります。館町南地区では平成17年に自主防災組織「館町南地区安全推進連絡協議会」を結成しました。今年度は、災害時に課題となる箇所や災害対策で有効となる箇所等を再認識し、万が一の場合に生かせるようハザードマップの作成と最上川が洪水した場合に想定される浸水深の表示看板を設置することとなった。

- ・10.16 地区役員会の開催(ハザードマップの趣旨説明及び作成の検討)
- ・11.25 地区役員及び安全推進連絡協議会の開催(趣旨説明及び作業日程の確認)
- ・11.30 現地調査及び調査資料の図面への書き込み
- ・12.17 隣組長会の開催(経過説明及び隣組における課題等についての意見集約)
- ・12.20 館町南地区ハザードマップの原案作成
- ・2.6 館町南地区ハザードマップの校正
- ・2.20 館町南地区ハザードマップの完成
- ・2.23 想定浸水深表示看板の設置

館町南地区安全推進連絡協議会結成後の活動

結成 2005.6.25

第1回防災訓練の実施 10.16

- M6.0の地震発生を想定 143名参加
- ①広報車による地区民への避難広報訓練
 - ②市指定避難所(長井高校)への避難訓練
 - ③水消火器による消火器使用方法の訓練
 - ④バケツリレーによる初期消火訓練
 - ⑤救急救命訓練(心臓蘇生法)
 - ⑥犯罪者から身を守る防ぎよ訓練(刺殺の使用実演)

2006年事業計画

- 1 地域防犯パトロール
 - ①防犯パトロール用帽子の購入
 - ②登下校時間に合わせた防犯パトロール
- 2 第2回防災訓練の実施 10.22

M6.0の地震発生を想定 110名参加

 - ①地区災害対策本部の設置
 - ②連絡網による避難情報伝達訓練
 - ③避難訓練(隣組毎に白山保育園に避難)
 - ④水消火器による消火器使用方法の訓練
 - ⑤煙体験ハウスによる火災時の避難体験
 - ⑥防災講話(消防本部予防課長)
 - ⑦炊き出し訓練(芋煮)
- 3 ハザードマップの作成及び想定浸水深表示看板の設置

ハザードマップ作成で得た課題

【短期課題】

- ・早期避難のための連絡体制及び連絡網の整備
- ・避難基準(避難準備と避難)の設定
- ・災害時要援護者の調査と支援プランの作成
- ・一時避難場所及び避難ルートの選定

【長期課題】

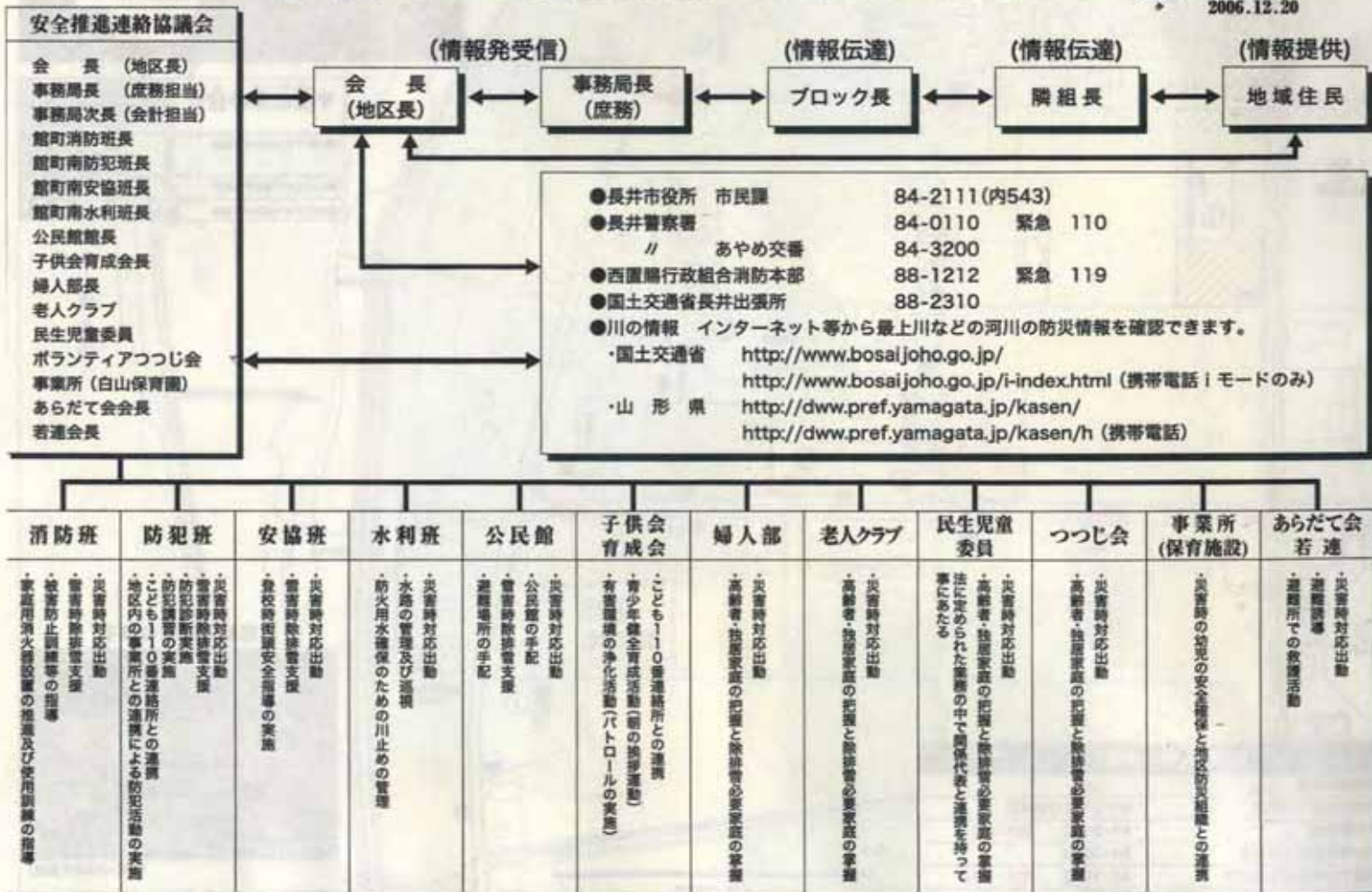
- ・地区集会所の建設
- ・防災備蓄倉庫及び資機材の整備(防災資機材整備計画を策定し、順次整備)
- ・市指定避難所への入り口の改善

避難上の留意事項(約束事項)

- ・非常持ち出し品を準備しておこう
- ・避難場所・避難路を確認しておこう
- ・非常時こそあわてず行動しよう
- ・隣近所へ声がけし、みんなで避難しよう(特に乳幼児、高齢者への手助けをお願いします)

館町南地区安全推進連絡協議会(緊急時の連絡体制)

結成 2005.6.25
見直し 2006.5.14
・ 2006.12.20



※ 年度毎に各団体の代表者で協議会を構成する。